

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	抗 PD-L1 抗体を用いた術後補助化学療法例に関する検討
	研究対象者	当施設において 2022 年 1 月より 2023 年 12 月までの期間に PD-L1 陽性術後Ⅱ期～ⅢA 期のプラチナ併用術後補助化学療法を受けた非小細胞肺癌患者および、その後にアテゾリズマブによる補助補助療法を受けた非小細胞肺癌患者
	研究目的	アテゾリズマブによる補助化学療法例を後方視的に解析することで、同療法の治療成績を評価することで同治療の有効性及び安全性に関して評価すること
	研究方法	PD-L1 陽性術後Ⅱ期～ⅢA 期のプラチナ併用術後補助化学療法を受けた非小細胞肺癌患者において診療録のデータを基にして年齢、性別、Performance status、喫煙歴、喫煙指数、組織診断結果、PD-L1 発現率、治療レジメン、投与コース数、治療中止理由、治療成績（奏効有無）、有害事象、再発有無、再発部位、予後（生存）の項目について後方視的に解析する
	個人情報保護	研究に使用する患者さんの診療情報は、容易に個人を特定できないように匿名化して使用させていただきます。
	研究期間	西暦 2024 年 11 月 5 日～西暦 2025 年 11 月 30 日
	利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 []西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載:____)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載:____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[]生年月日、 [X]性別、[X]既往歴、[X]併存疾患、[]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[]ゲノムデータ、[]看護記録、[]その他(具体的に記載:____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 呼吸器内科 近藤 哲郎
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター 呼吸器内科 近藤 哲郎 TEL 045-520-2222 利用停止のお申し出は 2025 年 10 月 31 日までにお問い合わせいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	